

令和5年度公立大学法人北九州市立大学評価委員会（第2回）議事要旨

- 1 開催日時 令和5年7月25日（火）13:30～16:05
- 2 開催場所 オンライン会議（北九州市役所5階 プレゼンルーム）
- 3 出席委員（五十音順：敬称略）
井上 洋美、権頭 喜美恵、勢一 智子、安浦 寛人、吉谷 愛

4 議事内容

（1）令和4年度に係る業務の実績及び第3期中期目標期間における業務の実績に関する評価について

（議事に入る前に、評価（案）の検討については非公開とすることを全会一致で決定した。）

ア 北九州市立大学から、資料1及び資料2並びに「大学・高専機能強化支援事業（学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）」の採択について説明

（ア）主な質疑・意見

【語学力の向上】

（委員）目標値「中国語能力検定試験2級相当到達者50%以上」を下回ったことを踏まえ、今後はどのような施策を考えているのか。

（大学）授業・カリキュラムを通じ、まずはコロナ禍以前の水準に戻したいと考えている。

（委員）コロナ禍の3年間で、留学経験等を先輩から受け継ぐ文化が途切れてしまっている。大学としても積極的に学生にアピールし、コロナ禍以前の状態に戻していただきたい。

【法令遵守の徹底】

（委員）2021年度を「不正防止対策強化年度」と位置付けたにもかかわらず、翌年度にこのような不正事案が発覚した。2021年度の実績が不十分だったのではないかと懸念している。

（大学）2021年度は、国のガイドラインの見直しを受け、強化年度と位置付けて例年とは異なる見直しを行った。不正事案の処分公表は2022年度だったが、実際の事案が発覚したのは2021年度以前であったということは、ご理解いただきたい。

（委員）不正事案が世間に与えるインパクトは大きいと懸念しているため、引き続き、不正防止にご尽力いただきたい。

イ 評価（案）の検討（非公表）